



ぼらんていあ通信

8月号
通巻 No.477

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2021年8月24日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/

緊急事態宣言延長にともなう

協会の対応について

会長 高橋 功



ボランティア協会の皆さま このコロナ禍の中より
ご苦労の中にお元気で過ごしているの事と思います。
神奈川県も感染力の強いデルタ株の蔓延によって緊
急事態を宣言しました。

それに伴ってボランティア協会は理事会や委員会等
を中止しますが、ほり通 ホームページなどの広報活動
や事務所は従来通り行います。

HCC活動や傾聴活動は、条件として「コロナワクチンを
2回接種した人(但し、HCC利用者には問わない)に限
定して行うことになっています。ワクチンを接種した人に
限定することは差別になるのではないかの意見もあ
りました。ボランティアや利用者を守るためにも必要
として一応確認して実施することにしました。

ある新聞社は、欧米ではワクチン接種の義務化、飲食
店の利用での接種証明や陰性証明を義務付ける等動き
が出ているが果たして日本で必要だろうかとして、有識
者や経営者に聞いていて、賛成意見としては、「接種を
義務付ける必要がある。副作用に関する知見も蓄積さ
れ、打った方が総合的にプラスなる」、それに対し、「持
病がある人や妊婦など接種に慎重な人もいる。こうした
個人情報を守らずに、差別や偏見に繋がる」、「接種は個
人の意思を尊重すべきだ」、「義務化は個人の権利に制
約をかける」など慎重な意見が多かったです。

この件についてはいろんな意見があつたかと思いま
すが、私は、多くの人がワクチンを接種し全体の接種率
を50%以上にして拡大率や重症率を下げることを願っ
ています。

2021年度 ボランティア協会理事会は

新しい理事さんとともに活動を開始しています!

理事の皆さんから、ご自身の紹介や抱負などのコメントをいただきました!!

「ロマンスカーを止めた男

羽田 彌



私は人工透析(以下透析)を
25年間行っています。透析を開
始したのは53才の時で未だ会
社勤めをしており定年制でした。
それは透析開始までもない時期
の透析日で会社から帰宅途中の
出来事でした。会社は、田町にあり、新宿まで山手線で来て
新宿から小田急線のロマンスカーで相模大野か町田まで帰
ります。その日も新宿からロマンスカーに乗り、町田で降りる
予定でした。ところが眠気を催してウトウトとしてしま
した。ハッと気がついた時は、ロマンスカーは町田駅を発車
するところでドアが締めかけられていました。もう降りられませ
ん。どうするか、途方に暮れました。確か、乗っていたロマ
ンスカーは次の停車駅が終着駅の小田原でした。小田原駅ま
で行って戻ってきたのでは透析時間に間に合いません。
その時丁度車掌が廻ってきていました。すかさず事情を話
して最寄りの駅で臨時停車してもらえないかお願いしてみま
した。快くだったかしぶしぶだったかは覚えていません。車
内放送で、確か「急病人が発生したので海老名駅で臨時停車
致します」だったと思いますがアナウンスが流れ、海老名駅
で停車し、私を降ろすように「ロマンスカーは発車しました。
私はその後、駅長室に連れて行かれ、簡単な始末書を書き、
すぐに上り電車で相模大野まで引き返し、若干遅刻しました
が事情を話して無事透析を受けました。

この一件があった後、透析病院の担当医には、私のことを
「ロマンスカーを止めた男」と言って揶揄されました。

「久々登場の理事」として

西本 敬



今年度から理事に就任しました西本です。今回も理事を務めさせていただきますので、新鮮味がまったくなかったです。

「願ひますねば、1981年の協会創立当初(当時)は運動部員のみならず何かしらあった訳であります。自分の中でも新鮮さには欠けるという点があります。しかし、協会の課題は歴史よりも人間と変化しています。そのおかげでこの活動を言っているだけでも、私がなすべきことは余りにも多く、かならずしも「鞭打つても頭張らなくはなさない」。

傾聴活動の「講師」講座の「協会の資料」となると、あれこれと課題は多いようです。むしろ「活動」の「活動」を果たしてまいりたいと思っております。皆様との協力をよろしくお願い申し上げます。

「傾聴活動」について

松原 俊



今年度から理事として活動させていただいた松原です。

自分は傾聴活動を開始して4年経ちましたが、最初の数が月にはほとんど

先輩の傾聴を聞いていたばかりでした。

今は3人でチームを組み、月に5回程度活動していますが、「コロナの影響」で外出がなかなかできないからか、傾聴希望者が増えています。傾聴は、利用者の言葉、表情、動作、間の取り方、沈黙など、対面して進めていきます。

自分の進め方ですが、まず、最初に利用者の情報(利用希望情報シート)から家庭環境、日常生活動作(A/D)、どのような共感的な姿勢を取れるか、などを準備します。実際に利用者や対面し、反応の仕方、周りの環境を観察します。その「利用者」の「共感」でみるか、合わせる「共感」が「言葉」に「反応」を見ることができます。言葉は専門用語を避け、タメフチは厳禁です。それ「利用者」が話している「話」の「腰」を折らないように最後まで聞くことが大切です。

ぜひ、笑顔を見たいので傾聴活動に参加しませんか。

「持続可能な活動をめざして」

渋谷 久美



今年度より理事となりました渋谷です。よろしくお願いします。

中学生の時に一人でボランティアセンターを訪れ活動を紹介します。グループを変えながらも長男が赤ちゃんの時から車椅子で生活する同世代の子と一緒にその当時の流行スポットに遊びに出かけたり、主にボラ協の交流事業や現在につながるほろほろあひまフェスタの運営などをおこなってきました。長男次男の子育てが少く落着いてきたり、果敢に「向かう時期」の今、仕事は「自分自身」の「皇の集症候群」の予防

9月の記念日は？

小倉 恭男

9月12日、宇宙の日です。

1992年が国際宇宙年だったことを記念して、科学技術庁や文部省宇宙科学研究所などからなる「日本国際宇宙年協議会」が日本にとってふさわしい宇宙の日を公募し、毛利衛がスペースシャトルで宇宙へ飛び立った9月12日が選ばれたそうです。スペースシャトルは既になく、今や民間の開発したロケットで宇宙に行く時代になりましたね。



小倉画

(笑)「昔の私を存じてくださったこと」に「一緒にできる喜びを感じながら活動」しています。そして、よく目にする「SDGs」(持続可能な開発目標)ですが、お一人お一人の活動や下支えするボランティア協会も持続可能な活動をおこなって「これが重要だ」と思っています。「なにか楽しかったな、嬉しかったな、次もまたやってみようかな」そんな思いを繰り返していただければいいと思います。自身の生活スタイルや健康に無理なく何年でも続けていた「活動」の内容を、また、ボラ協でおこなっている事業は公的の制度で定められたサークルの隙間を補充するものとして、これも重要です。ボラ協で「活動」するものとして、いつでも持続できる「活動」に「一緒に考え、動いていこう」と思っています。

ボランティヤ活動グループ訪問記



相模原障害者とダンスを楽しむ会



7月18日(日)午後 梅雨が明けたとみられると発表されたばかりの暑い日古淵駅に近い大野中公民館へ。毎月1回第3日曜日午後1時半〜4時までが例会の日と聞いてお邪魔しました。代表の古矢野榮さんに快く迎えていただきました。今日の参加者は人で全員が女性です。会員には男性も勿論いらっしゃいますが、今日は欠席とのこと。この暑さとコロナ禍も影響していて部屋に入れる人数にも制限があるのです。

まず体ならしく「ソラソラ」「サザエさん」を踊ってみせていただきました。ゆっゆと静かに見えるが動きはとても大きく華やかです。お話しは、月1回の練習では毎回のことも忘れてしまっているようで、毎回踊りながら思い出すのだそうです。

体がほぐれてきたところで「野に咲く花のよう」とオリジナル曲だと言いつつ「君とダンス」を披露していただきました。説明によくと使用している車椅子は一般



参加者全員で静かに、優雅に練習

私たちが見かけた使用したりするものと同じなのです。介助者が押したり引いたり動かしただけでも重くてむずかしいものですが、自然に大ききゆったりとした動きで踊れるようにも感動しました。休憩に入りの会員の方にお話をうかがいました。「踊り方も皆で確認しながらの美しく見えるように工夫します」とのこと。気が付いたところをどう動けばもっと良くなるかを話し合い、踊ってみてシッカリ決まればうれしい達成感も味わえるそうです。

会の成り立ちなどを古矢野さんにつかがいしました。設立は平成7年、車椅子の「主人」と2人3脚で始められた。今はお一人で代表を務められています。今年で28年目。現在の会員は30名。例会は大野中公民館です。

どんな曲でも幅広く挑戦しています。社交・シク・フォーク・手話ダンス・民謡(盆踊り)など。普通で速度で踊りについていけない場合は音楽のスピードを調整したりして皆さんが参加出来るように工夫しています。

例会のほか、ほかほかふれあいフェスタ、冬のほかふれ(世界障害者週間、障害者の日キャンペーン)、市民接まつりにも参加。障害者団体、福祉施設へのボランティア活動など沢山あります。受賞歴も数多くあり、直近では平成30年厚生労働大臣賞を受賞しました。

一般に使用されている車椅子を使って踊ることについては、パートナーの方も大きな動作が求められる。手も肘一杯広げて、ステップも大きく踏みないうつまく踊れないし、優雅には見えません。色反工夫がなされています。最後に優雅で美しい「リネ

「ワルツ」を踊って見せていただきました。会のモットーとなっている『障がいのある人も、無い人も共に手を取り合い、ダンスを楽しみ、人と人とのふれあいを大切にして、明るい地域社会を作る』を目的にこれからも頑張って続けて行きたいです。今日はありがとうございました。(植野)

最後に是非見せたいと「デネシーワルツ」ステキ!



*障害者とダンスを楽しむ会
代表 古矢野 榮
〒252-0301
相模原市南区鶴野森1-30-3-103
TEL 042-746-1823

クイズに挑戦

なげなげです。

- ① 重い病気がかかるとの何秒かかるといふか? ヒント・重い病気とは別の言い方ができますね。
- ② 世界の真ん中にある昆虫はなにか? ヒント・「世界」をひらがなにしてみるよ……



理事会報告



8月14日(土) 正副会長会(理事の30名出席)

緊急事態宣言による活動の中止による会館運営利用停止による、事務局で会長・副会長による協議として開催。

1、報告事項

〈広報委員会〉

・ぼらんていあ通信の発行は、21日印刷、22日発送。

・ホームページの一部を改修(SNS動画へのリンクページ設置)

〈HC委員会〉

・緊急事態宣言期間中の運転者はワクチン接種完了者に限定

〈事務局委員会〉

・事務局は感染対策に留意して通常通り業務を行う。

〈講座検討委員会〉

・8月12日J市のSDGs推進課の担当者へ面談し、来年の講座への協力承諾を得た。

〈傾聴委員会〉

・利用者・訪問者をワクチン接種完了者に限定して活動。

〈総合企画委員会〉

・協会創立40周年にむけ、記念誌発行の確認、検討をした。

2、審議事項

(1) 緊急事態宣言によるボラ協の対応を確認。

(2) 事務局の現状及び認定NPO法人としてのボラ協の現状確認。

次回理事会 9月11日(土) 10時より

ボランティア協会 2021 度の組織体制と担当責任者



理事会	高橋功(会長)、加藤修(副会長)、恒藤玲子(副会長) 大貫栄、渋谷久美、西本敬、羽田彌、松原俊	監事	勝部幸三 杉本栄治
-----	----------------------------------------------------	----	--------------

委員会名	管掌理事	
広報委員会	ぼらんていあ通部会	恒藤玲子
	情報部会	渋谷久美
	わくわく部会	西本敬
事務局委員会	加藤 修	
ハンディキャップ委員会	加藤 修	
講座検討委員会	羽田 彌	
傾聴委員会	松原 俊	

総合企画委員会	高橋功管掌 加藤修、西本敬 勝部幸三、渡邊亮 小倉義男、恒藤玲子
---------	-------------------------------------------



特別委員会

実行委員会関係

委員会名	分掌事項	委員長
DVD制作実行委員会	ボラ協紹介などのDVD作成	西本敬
40周年行事準備委員会	記念誌の発行など	高橋功
ほかほかふれあいフェスタ2021	高橋功、小野明雄、西本敬、渋谷久美、恒藤玲子	
市民桜まつり	2021年度は中止	
新春ボウリング大会実行委員会	羽田彌	

事務局委員メンバー



事務局で電話対応、HCの運行調整など、毎日大変な作業をこなしている事務局委員さんです。

◎小野明雄、小川美津枝、篠島紀子、佐藤邦子、杉崎久子、堀一恵、石関清美、田中恵子、守屋和郎、田中すすみ ◎は委員長

ご協力をよろしくお願いします。



ボランティア協会のために、長年ご力をいただいた右関理事と荒井理事「ボランティアの活動の思ひを伺いました。」

理事を返任して

石関 清美

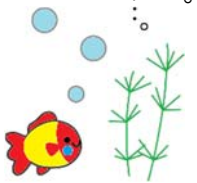


この度、4年勤めました理事を返任いたしました。

南の事務局で中央との連絡係をしていてボランティア協会の事はほとんど知らないまま理事を引き受けました。夫の協力のおかげで引き受けやすいと言っただけで中を知らなかった。家庭の事情で活動には制限がありました。理事の返任は優越感を感じていませんでした。傾聴と広報の管理理事を担当して楽しい4年間でした。しかし夫の協力(特に息子さんの協力で)も限界に来ており、これ以上続ける事は出来ません。…。もう一期頑張ればと迷惑をかける所済みましたが理事の返任もわかっています。快く承知していただいております。

理事は辞めませんが、積極委員(ほぼ通委員)として、又事務局委員としての仕事をあと何年か、出来る範囲での活動になります。足手まといにならないように続けたいと思います。ご迷惑を。ご迷惑を。ご迷惑を。

今度は夫に協力しながらです。…。



理事としての2年間

荒井 善友



こんにちは。

理事としての2年間は、自分の体調管理ができておらず3回の入院で高橋会長をはじめ、理事の皆様、事務局の方々、ハンディーキヤブをご利用の会員様にご迷惑をおかけして、この場をお借りしてお詫言いたします。2020年1月に横浜港に停泊したクルーズ船からコロナが報じられて、コロナ感染、マスク不足、緊急事態宣言、学校の休業、リモートワーク、オリンピックの延期と、私たちの生活環境、ボランティア協会の運営も大きく変化しました。会員様にもご不便をお掛けしました。

1年遅れの2020年オンラインで日本勢が多くメダルを、獲得、感動と勇気と元気を貰いました。一日も早いコロナ終息に向けて、もう一踏ん張りして皆さんで力を合わせて、元気に笑顔で会います。

*本誌にお疲れを覚えました。が、これからもうボランティア協会をよろしくお願いいたします。

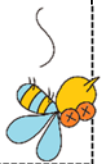
文字の長さ

①は10秒

重い病気を二重病(重病)→10秒

②は蚊

「かか」の文字の真ん中「か」の文字が長いです。



Twitter

ほらんていあ通信版 ツイッターコーナー

防災の日・防災週間について

加藤 宗夫



昭和57年閣議了解に基づき9月1日は防災の日、8月30日～9月1日は防災週間の日となりました。9月1日は関東大震災が起きた日です。

首都直下型地震(M7位)は30年以内に70%の確率で起きると言われています。公助が受けられない3日分の水と食料が必要。

水は一人3ℓ/日(2人家族なら18ℓ)、シトルト食品、薬、ライト、ラジオ、電話用小銭、携帯電話充電器、日用品など必要。

防災品のリストと現物を確認し、台風、大雨、地震災害に備えましょう。

*過去の大きな地震

永仁地震 1293年5月27日 7200年前、相模湾震源 推定M7 死者23千人

元禄地震 1703年12月31日 318年前、千葉県野島 崎付近震源 推定M7.9 8.5

大正地震(関東大震災) 1923年9月1日 98年前、相模湾北部震源 死者105千人

阪神淡路大震災 1995年1月17日 5時46分 推定M7.9 3分後M7.2 5分後M7.3(3回発生)

東日本大震災 2011年3月11日 14時46分 推定M9 死者不明者25千人

三陸沖震源、推定M9 死者不明者25千人

☆ボランティアセンターの“ちょっといい”話



— 今回は、ボラセンから皆様にエピソードをひとつご紹介 —

Kさんがいるかバンクに登録したのは4ヶ月前。そのきっかけは、自身がボランティアに助けもらったことでした。引っ越しを控えていたKさんは、身寄りがなく経済的にも厳しかったため業者への依頼ができず、ボラセンに相談。ボラセンが紹介した地元のボランティアグループのサポートを受け無事に転居できました。

後日、「八方塞がりだった自分のために一生懸命にお手伝いしてくださって感謝している。この恩は自分がボランティアとして、誰かのために活動することで返したい。」というかバンクに登録されたのです。その後のKさんは障がいのある方の住居内の清掃・子ども食堂の支援等で活躍されています。

☆☆☆

支えながらも、誰かを支えていく。その中心にボランティア精神がある。やがて誰もが参加できる地域へとつながっていく。そんなはじまりの瞬間に出会えたことを嬉しく思います。転居時のボランティアさんとKさんの両方に感謝して、これからも精一杯の活動支援を行ってまいります。

連絡・問い合わせ先



相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982
 相模原市社協 中央ボランティアセンター : 電話 042 (786) 6181
 FAX 042 (786) 6182
 メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp

相模原ボランティア協会 9月の予定

日	時間	内容
5(日)	10:00~	HC委員会
11(土)	10:00~	定例理事会
18(土)	13:00~	事務局委員会
21(火)	13:00~	ぼら通9月号印刷
22(水)	13:00~	ぼら通9月号発行
24(金)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
27(月)	10:00~	DVD制作実行委員会



なお

山口尚美画

《今月のイラスト》
 …夏は野菜が美味しいですね》

コロナ禍の中でのオリンピックは反対だったが放送されればつい見してしまう。
 そんな時テレビが壊れた。テレビが無いのがこんなにも静かなのかと感心。うーんこれも良いなと思ったが、翌日にはまた新しいテレビで大騒ぎでの観戦。ダメだ、これでは…。

(石)

編集後記

ご寄付をありがとうございました
 皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。
 <7月の寄付者>
 3名の方からご寄付をいただきました。
 <7月の寄付金>
 総額 7,000 円でした。

